

(議長)

休憩前に引き続き、会議を再開致します。

健康推進課所管の予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「健康推進課長」。

「健康推進課長」(補足説明)

おはようございます。

(「おはようございます」の声)

「健康推進課長」(補足説明)

健康推進課が所管している予算について、ご説明致します。

新規事業を中心に説明致しますので、宜しくお願い致します。

初めに、一般会計について予算資料でご説明を致します。10頁をお開き下さい。民生費でございます。10頁から11頁、12頁にかけて、75番、79番、94番、95番、97番、98番、103番、109番、の8事業が健康推進課の所管している事業でございます。

95番、後期高齢者医療特別会計繰り出しにつきましては、前年度より、606万5千円の増となっております。主な理由は、後期高齢者医療システム機器更新改修によるものでございます。

98番、年金生活者支援給付金に係る国民年金システム改修は、新規事業でございます。全額国庫支出金でございます。他の事業につきましては、前年度同様の事業内容でございます。

次に、衛生費でございます。同じく12頁から13頁、133番から137番、139番から160番までの27事業でございます。136番、脳疾患救急搬送特別支援補助は、前年度より200万円の増となっております。これは、江差脳神経外科クリニック所有の救急車更新費用を上ノ国町、厚沢部町、乙部町と、当町の4町で補助することによるもので、単年度のみ増額でございます。

150番、151番、153番の3事業で、492万4千円の減となっております。元年度までは、国保被保険者分の助成金につきましては、年度末に国保特別会計から、一般会計に繰り入れる方法を取っておりましたが、令和2年度からは国保被保険者分は国保会計から直接助成する方法に切り替えたことによるものが、主な理由となっております。

次に、新規事業です。155番、妊産婦健康診査等交通費助成でございます。妊産婦の経済的支援を目的として、町外の医療機関に妊婦検診、出産時、産婦検診で、通院する方への交通費を助成する事業でございます。108万4千円を計上しております。その内、33万4千円は、道支出金を財源としています。

その他の事業につきましては、前年度同様の内容でございます。

以上で、一般会計の説明と致します。

次に、国民健康保険費特別会計の予算についてご説明致します。国民健康保険事務に關しましては、適正な事務の遂行、検診受診率の向上、糖尿病重症化予防の強化など、医療費適正化に向けた事業の推進と、医療費等のデータ分析を基に、各所見事業を実施し、町民の健康意識の底上げに努めて参りたいと思っております。

では、予算資料1頁をご覧下さい。予算の歳入歳出総額は、8億6,255万円で、前年度から2,412万3千円の減となりました。30頁、31頁の予算構成表をご覧下さい。減額になった主な理由は、被保険者数の減少による、保険給付費、国民健康保険事業費、納付金の減でございます。令和元年度において、特定検診、がん検診受診率向上対策事業を実施し、特定検診受診率においては、現時点で約6%の増加が見られました。令和2年度は、国保連合会が実施する、特定検診受診率向上支援と共同事業に参加し、引き続き受診率向上に努めて参ります。

最後に、後期高齢者医療特別会計についてご説明致します。1頁にお戻り下さい。予算の歳入歳出総額は1億3,104万8千円で、前年度から865万9千円の増でございます。32頁をご覧下さい。増額になった主な理由でございますが、後期高齢者医療システムの更新改修費、後期高齢者納付金の増額によるものでございます。後期高齢者医療につきましては、広域連合と町が事務分担しておりますが、今後も広域連合と連携し、適切な制度運営が出来るよう努めて参ります。

以上、健康推進課所管の説明を終わります。宜しくお願い致します。

(議長)

説明が終わりましたので、質疑を許します。

質疑希望ありませんか。

「小野寺議員」。

「小野寺議員」

1点だけ、お聞きします。新型コロナウイルスの関係で、ちょっと、お聞きしたいんですが。前回、総務、総務課長の方に、体制的なことについては、現状は、条例作ると間に合いませんから、要綱を作って、全体の動いてるということをお聞きしました。それは、それで質疑させて頂きましたが、ただ、実際、感染症対策と言いますか、公衆衛生と言いますか、その最前線は、健康推進課が本当に大きな部分もあるかと思っておりますので、関連の部分で、お聞きしたいなと思っておりますが、まず、現状、今、課長の段階で、健康推進課の課長の段階で構わないんですけども、今、現状をどういうふうに、ちょっと、こう押さえているか。非常に、私ね、極端、2つの極端だと思ったんです。1つはあんまり気にしていない。もうマスクも気にしていないし、あまりマスクのことも良く、高齢者も含めて、良く知らない。だから本当に今、恐れずけどしっかりとした対策という点では、これアナウンス本当に必要だなという気がしたのと。もう1つは、極端に、その何か今すぐにでも自分が罹ってしまうんじゃないかということで、とくに1

人暮らしの方、凄く不安になっている。そういう方々がどういうところに繋がっているか分かりませんが、時々、私も電話来ますが、そういう相談ごとだとかも、役場の方に来ると思うんです。そういうことも含めて、江差町の今の状況、どんなふうに課長段階でちょっと分析してるかなど、ちょっと気になったので、教えて頂きたいというのが1つです。分かる範囲でいいです。

それから2つ目。総務課とそれから、先程、町民課にもお聞きしたんですが、マスクなど、これ医療機関にも聞いたんですけどね、かなりひっ迫してますね。これは、町で何出来るかって、昨日、備蓄がなかなかない。町村によってですね、町の備蓄を民間も含めて医療機関に、それから福祉施設にも拠出したというところも出ていますが、すくなくないですね、そういうところはね。だから、多くは江差町のように備蓄なんてないと。ですから、今後、長引けば、そこら辺の状況もしっかりと掴んだ中で、江差町としても可能な限り、道だとか、国だとか、要請して行かなきゃなんないと思うんですが、現状で今、そういうマスクだとか、消毒だとか、どういうふうに押さえているのか、押さえていないのか。私は、押さえるべきだと思うんですが、健康推進課でよかったのか、ちょっと、総務課長では、なかなか分かんないようなこと言うので今ここで聞きます。

最後ですが、体制何ですけどね、さっき、要綱で作ってると、いうことを聞いたんですけども、国の方では、まだ法案が、改正、新型インフルエンザの法案が、改正法がまだ、参議院通ってませんけれども、多分法案が出来ても、課長きつとあれですよ、前回の新型インフルエンザの時に江差町が作った、対策行動計画。国は大体、結果的にはこれになるだろうと。ですから、いろんな動きについても、江差町も作っていた平成28年に作った、江差町新型インフルエンザ等対策行動計画で、いろんなことを想定した部分が、大体こういうふういきつとなるのかなあと思うんですが、現状で、対策本部の中で、実質的に公衆衛生、感染予防の大きな役割を担っている健康推進課の目から見ると、今どんなふうに今後のことも含めてですね、対策を取ろうとしているのか。もしくは、体制として今考えているのか。本当にこれから急激にこの江差だって分かんないですよ。集団が出てくる。ですから、そういうことは、先、先、先、と後手ではなくて、先々の対策をしっかりと、いろんな計画の既にこの間、経験済みですから、それを踏まえて今どのように考えていらっしゃるのか、ちょっと、健康推進課で良かったのかどうか、申し訳ないんですが、ここでお聞きします。

(議長)

はい。「健康推進課長」。

「健康推進課長」

私、個人の分析というようなお話でございしますが、まずは、道保健所が専門家を国から3名程、道の方で、来て頂いて、疫学調査をしております。その疫学調査を基に、今集団感染を予防するために、道が一生懸命、動いているという状況は、私も認識しております。それは、そのとおりだろうと、思っております。実際、江差町におきまし

ては、現在のところ感染者、陽性患者さんは出ていない状況でございますので、議員がおっしゃるとおり、非常に心配している方とそうでもない方といらっしゃるもの事実かなというふうに思っております。対策本部に関しましては、やはり、正しい情報をどうやって伝えて行くのか。今、町として、感染拡大防止対策としてやっていることを、きちっと住民に伝えて行きたいというところに中心に、今、動いているという状況でございます。マスクや消毒薬の備蓄ということでございますが、健康推進課におきましても、マスクの備蓄はほぼ、いろんなところに提供するほどの数は持っていないというのが現状でございます。発注はかけてはおりますが、いつ来るのかが、納入可能予定がまだ未定というような状況ではございます。今後ということ何ですけれども、当然、感染者が発症しましたという状況とそうじゃない状況では、周知の内容等々も変わって来るかと思いますが、出来るだけ、タイムリーに正しい情報を提供出来るように、本部の中では、考えて行きたいかなというふうに思っております。

「町長」

「議長」。

(議長)

はい。「町長」。

「町長」

付け加えまして、マスクや消毒液に関しての不足という部分ですね、先週の段階だったと思いますけれども、振興局長から、私のところに電話がありまして、何か今この感染症対策に対して困っていることはないかと聞き取り場面がありました。その場面で町としてもですね、高齢者が多い施設、あるいは、グループホームであるとか、介護施設などの聞き取りも行った上でですね、マスクや消毒液が不足しているというような状況を見聞きしておりましたので、道に対して振興局長に対して、私から優先的に高齢者が集団にいるような施設に対して、配慮して欲しい、優先的に配って欲しいというようなお願いをしているところでですね、それが実現されるかどうか分かりませんが、町としては、道に対して振興局長に対して、そういう要請をしているということを申し添えさせていただきます。

(議長)

はい。「小野寺議員」。

「小野寺議員」

分かりました。健康推進課長、状況ですね、本当に、こうなのか、こうなのか、こうなのか。ただ、言えることは、検査、検査頼んでも検査してくれてないというの変わらないですよ。やっとな、今日からですか、函館では検査出来る、新型コロナウイルスの

検査出来るようになりましたけれども、絶対数、入院するところが道南では、道立病院で4つ、八雲で4つ、市立函病で6つでしたか、道南でこだけしかないから、検査なんてそんなにしないですよ、今の状況。なので、保健所には相当相談行ってるはずなんです。役場にも行ってるのかどうか分かりませんが、いろいろこれから、もし長引けば、しっかりと連携も取りながら、保健所だとか、先程言った振興局だとか、きちっと連携も取りながら、冷静に今の状況、実は、相談件数では大変なことあるけど、なかなか出来ないんだということなのか。いや、かなりもう落ち着いてると、そういうことも含めてしっかりと、分析の中で、取り組んで頂ければと思います。なければ、要望にしますが、いいです。是非、お願いします。

(議長)

他に質疑希望ありませんので。

「塚本議員」。

「塚本議員」

今の、コロナ、新型コロナウイルス対策の関連で、若干、重複する部分も、小野寺議員の質問にありますけれども、ちょっと、別な視点でのご質問をさせていただきます。

今までの説明の中では、発生予防対策が非常に重要だということで、縷々いろいろ対策を講じているというふうに伺っていますが、小野寺議員からもあったように、道南で第2種感染指定医療機関は、檜山管内では道立江差病院、これ2床ですね、あと市立函館病院は6床、町立八雲病院が4床になってます。函館管内では、一部、大きな病院では、更にこれらの病床を確保したい旨の情報は得ておりますが、すでに檜山での感染も複数いるということで、考えて見ますと、これは江差の道立病院はもう、すでに塞がっている状況になっているのかという推測を致します。万が一ですね、発生した場合には、江差道立病院のこの2床では到底間に合わない訳で、江差病院では、更にこういう病床を増やすような対策を江差から要請しているのか、それらの発生した場合の病床、これは函館まで搬送するのか。この辺の対応についてちょっとお伺いしたいと思います。

(議長)

「健康推進課長」。

「健康推進課長」

江差道立病院が現在4床、八雲町が4床、函館6床と、あと函館の市内の大きな病院を含めると、50床くらいになっているというふうには、報道等で確認をさせていただきました。塚本議員ご心配の患者さんが出た時に道立病院で受け入れるのかというような、もう少しキャパを広げることが出来るのかというようなお話でございましたが、その点に関しましては、町から特に広げて下さいとかというような形の要請は、現在のところ

は致しておりません。

(議長)

はい。いいですね。

はい。他に質疑希望ありませんので、健康推進課所管の予算並びに関連議案について、質疑を終わります。

説明員入れ替えのため、暫時休憩致します。